

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第76号 (H29.11.22)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



**はじめに** 11月も下旬となりました。宮崎でも朝夕気温が下がり冬の訪れを感じています。今年も余すところ1ヶ月あまり。時の過ぎる早さを感じます。

ザンビアは南半球ですのでこれから日本でいう夏に向かうのですが、雨期が始まったようです。雨が多くなりますが、農業者には待ちに待った雨、畑仕事でルアノ地区など巡回診療に行く地区の人々は忙しくなるようです。

今回のニュースは、山元香代子先生からの報告と、10月末から4日間滞在された医師と、11月上旬2週間滞在された日本人ボランティアの方からのご報告をお伝えします。

また、皆様からの感想、ご意見をお待ちしています。よろしくお願ひします。

**アプリの告知と再度のお願い** ORMZ ニュース第74号でもご紹介しましたが、私の高校の同級生のアドバイスと支援を受け、ザンビアの辺地医療を支援する会の公式アプリをはじめました。

いつでもどこでもORMZの最新情報をスマホで見ることのできるアプリです。

アプリは記載のQRコードからダウンロードできます。

iPhone、Android どちらでも大丈夫です。

ダウンロードしたら、あなたのプロフィールを入力してください。

是非、皆様のお友達にもご紹介ください。



### 現地活動報告 (山元香代子先生から (11月14日付け))

みなさま いかがお過ごしでしょうか。日本は大分寒くなっていることと思います。

こちらは週末にまとまった雨が降り、曇った天気が続きました。今朝はとていいお天気で、きれいな青空が広がっていましたが、昼過ぎから降りだしました。もう雨季が始まったようです。10月末には日本から医師が一人4日間滞在され、11月1日のサンダラの巡回診療に同行されました。11月6日からは約2週間日本人のボランティアが滞在され、8日のルアノの巡回診療に参加されました。

ランクルのクランクシャフトが3ヶ月待って、ようやく今日、日本から届きました。クランクシャフトだけで35,287クワチャ、日本円で402,000円、高価でほんとうに涙が出ます。3ヶ月待たされたので、値引きをお願いしましたが全く相手にされませんでした。修理が完了するまではこの車は全く使えません。道路状況の悪いサンダラの巡回診療や殺虫剤噴霧にはレンタカーが必要です。

10月25日はルアノでの巡回診療。患者数は58名と少なく、マラリア陽性は53名中0名(0%)。乾季で水不足の影響で結膜炎が多くみられました、患者数が少なく早めにルアノを発ったのですが、ランクルの右前輪からブレーキオイルが漏れていて、途中で修理。ブレーキパイプにビニール袋を詰めてオイルを遮断し、他の3つのブレーキが作動する状態でルサカまで戻りました。

11月1日はサンダラでの巡回診療でした。患者数は81名と少なかったです。マラリア陽性は73中4名(5.5%)。全てルアノとの境界の地域からの患者でした。血便を訴える患者や結



膜炎、ビルハジア（住血吸虫症）の患者が多かったです。チベンビから助産師が一人同乗して、予防接種を行いました。予防接種はヘルスセンターの仕事なのですが、なかなか同行してくれず、引退した助産師をプロジェクトのお金で雇い、予防接種を依頼しています。サンダラには2台の車を出しますので、チベンビヘルスセンターの看護師が同乗して、11月1日にはルアノ地区で予防接種を実施する予定でしたが、すっぱかされました。よくあることなのですが、ルアノ地区で待っていたお母さんや子供たちが気の毒でした。これからはヘルスセンターの都合に合わせて、来月からは第3週の水曜日をサンダラ行きに変更することにしました。日本人の医師が一人同行されて、診療や片付けなど手伝っていただきました。帰路で、1台はバッテリーの調子が悪くなり、レンタカーはギアの調子が悪くなり、このまま野宿かと思いましたが、何とか午前3時過ぎにルサカに帰りつきました。

11月8日はルアノでの巡回診療。患者数は67名。マラリア陽性は60名中0名(0%)。結膜炎が多くみられました。日本からのボランティアが一人同行され、いろいろとお手伝いいただきました。今日こそは早めにルサカに着くかなと期待しましたが、帰路、ランクルの右前輪から再びブレーキオイルが漏れていて、途中で修理しなくてははいけませんでした。翌日、ブレーキパイプの接続部が弛まないように再度修理をお願いしました。

10月27日から29日、11月10日から12日、ルアノ地区でマラリア蚊の殺虫剤噴霧を実施しました。噴霧者、監督者、運転手6名は泊りがけでした。約330戸数を噴霧したことになりますが、5月の噴霧と比べ100戸近く少なくなっているのです。その理由をはっきりさせなくてははいけないと考えています。11月17日から19日はニャンカンガでの噴霧が始まります。雨が降らないことを祈るばかりです。

11月末からコミュニティヘルスワーカーの研修、後半分10日間を予定しています。今日14日は研修の講師3名に集まってもらい、研修の進め方などについて話し合いました。宿舍の手配、食事の手配、物品の購入など準備もいろいろあり、殺虫剤噴霧の準備と合わせ、日本人のボランティアの方に助けていただいています。とてもありがたいです。

毎回巡回診療のたびに車の調子が悪くなり、へこむことの多い毎日ですが、みんな元気でがんばって仕事をしていこうと思います。これからもみなさまからのご支援をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

### 現地活動報告（山中さやか先生、三次智代様から）

私は学生時代にガーナでマラリアの研究を行ったことをきっかけに熱帯医学に興味を持ち、将来寄生虫疾患やマラリアが問題となっている地域で働きたいと考えています。ただ調べてみると途上国で働く日本人医師の活動の大半は公衆衛生や基礎研究でした。臨床家として現場で患者さんを診療している人を探すなかで山元先生のことを知り、巡回診療に同行させていただくためにザンビアを訪れました。

現地の様子はHPで拝見していたものの、藁でできた診療所や屋外での予防接種を実際に見るとやはり驚きました。道はかなり改善されたと聞きましたが、やはり険しいものでした。車の調子は悪く、朝5時に出て帰り着いたのは午前3時頃でした。その他にも不自由な部分が多い環境でしたが、その中で奮闘する先生の姿勢に感銘を受けました。特に驚いたのは診療システムです。診療を希望する患



ルアノ地区診療所



ルアノ地区の井戸  
大切に使われています



故障した車の修理



者さんは1クワチャ払ってカルテを購入する、カルテには通し番号がふられていて再診時には番号を申告すれば同じカルテを受け取れる、バイタルチェックや検査、処方薬などブースが設けられておりそれぞれでスタッフが対応する。巡回診療に必要な物品はリスト化されていて、山元先生不在の時でもスタッフだけで準備できるようになっていました。日本であれば普通のことですが、電気もガスも建物も薬もスタッフも、何もない環境下でこのシステムを立ち上げるのに先生がどれだけの時間と苦労を重ねてきたのだらうと感じました。今回の訪問で学んだことのなかで最も大きいことは、フィールドは違えども医療の本質は変わらないということでした。鑑別に挙がる疾患やできる検査の幅には違いがありますが、目の前の患者さんに対して、与えられた環境の中でできる限り精一杯のことを行うということ。その点は日本で働く同僚と全く変わらず、なぜかとてもうれしい気持ちになりました。短い間でしたが大変お世話になりました。先生のホスピタリティに甘えてばかりで申し訳ありませんでした。ありがとうございました。(山中さやか)

### 活動に参加させて頂いて

先生に初めてお会いしたのは香港の空港で、乗継の時に立ち話をしたのがきっかけでした。その時に医療関係のボランティアをされていると聞き、とても興味を持ちました。先生とは行先が違った為、ほんの少しの間しか話せず、後日ORMZの方へメールをさせて頂き、先生と連絡を取る事ができました。お忙しい中にも関わらず、ザンビアでの活動見学を受け入れて下さいました。

ザンビア到着2日後にルアノ地区での巡回診療に同行させて頂きました。村に向かう途中で車を呼び止める方もいて先生の到着を待ち望んでいる方が多くいるのが分かりました。順調に4時間程で村に到着し、受付のお手伝いをさせて頂きました。

カルテの多さに驚くと同時に、先生はこれだけ多くの方々を無償で診察しているのだという事実が目に見えて分かる瞬間でした。

次はマラリア検査のお手伝いをさせて頂き、多くの患者さんと直接触れ合う事により、先生の巡回診療が無かったらこの村の方々は大変な思いをするのだらうとつくづく感じました。幸い、陽性反応の方はおらず安心しました。

次に先生が実際に診察をされている所を見学させて頂きました。この日の患者さんは80人位だった様ですが(これでも少ない方というのはびっくりしました)一人一人の患者さんの目を見て真剣に話をしている先生はとても偉大な方だと改めて思いました。

夕方くらいにすべての診察が終わり、村の人が先生へのお礼としてご飯の用意を下さっていました。

帰る途中、順調で良かったと思っていた矢先に1台の車が故障しました。2人の運転手さんが慣れた手つきですぐに直す姿を見てとても頼もしいと思いました。

活動を支えている方々が本当にたくさんいるのだと感じました。

こんな私でも何かお役に立てないかと思い、ザンビアまで押しかけてしまいましたが、何も分からない私に色々と教えて下さり、先生をはじめ、出会ったすべての方々に感謝しています。

実際に来てみて一番感じた事は巡回診療等の準備に多くの時間と人手が必要という事です。



道路途中での診療



診療がおわって食事

たくさんの種類の薬の用意をしたり、足りない物は買い出しに行ったり、車の修理等、想像以上に大変なものでした。車修理の為にパーツが届くまで3,4ヶ月も待たなければいけなかったり、物事がなかなかスムーズに終わらない事もよくあり根気も必要だと感じました。そして、いかに寄付金が大切に使われているのかがよく分かりました。

これは日本で活動報告を拝見するだけでは決して分からなかった事であり、非常に貴重な体験をさせて頂きました。色々と大変な事は多いですが先生のまわりにいる方たちはとても幸せそうでした。感動的な経験で、私までもがとても幸せな気持ちになる事ができました。

見学を受け入れて下さり、本当にありがとうございました。(三次智代)

### **賛助会費納入及びご寄附のお願い**

・認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業は、皆様からの賛助会費並びにご寄附により運営されています。賛助会費は個人一口 5000 円、団体一口 10000 円からとなっており、ご寄附につきましては金額を問いません。

・郵便局まで足を運んでいただくというお手間をおかけしますが、ご協力のほどなにとぞよろしくお願い致します。入金を確認しました際には、日高から御礼のメールを差し上げます。また当法人は認定 NPO 法人であり、ご寄付(賛助会費含む)いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書(賛助会費も寄附金と同様税控除の対象)をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高( [info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp) )までご連絡ください。

#### ★郵ちょ銀行からの振替

口座記号 01720-9      口座番号 126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

#### ★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名:一七九、預金種目:当座、口座番号:0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角):トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

以上

平成 29 年も残りわずかですが ORMZ へのご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します